

「ボッチャ競技体験」を通して学ぶ

【大田市立第三中学校】

ねらい

ボッチャ競技の体験を通して障がいやパラスポーツへの理解を深める。

いつ

令和3年11月18日(木)

どこで

大田市立第三中学校 体育館

だれが

【ボッチャ体験】
全校生徒・教職員 21名
※講師…細井 利美氏
雲石 和仁氏
[島根県障害者スポーツ指導者協議会]

なにを

- ボッチャのルールや競技特性の説明
- ボッチャ体験(パラリンピック競技)

概要

- ・全校生徒と教職員でパラリンピック競技であるボッチャについてルール説明を聞いた
り実際に体験をしたりして、パラリンピックの理念や価値について学ぶ。
- ・プレーヤーとして競技を楽しむだけでなく、審判や応援をする立場として「する・見
る・支える・知る」など様々な視点から障がいやパラスポーツへの理解を深める。



全校生徒と教職員でボッチャ競技に挑戦し、障がい者スポーツへの理解をより一層深める機会となりました。初めて競技を体験した生徒からは、「今日はボッチャを実際に体験し、盛り上がるかどうか心配していたけれど、みんなと作戦を練ったりしながら一緒に楽しむことができよかったです。」という感想が聞かれました。講師の細井さんと雲石さんから作戦についてアドバイスをもらった生徒たちは、チームで話し合い協力し合いながら、投げるコースを選んだり投げ方を工夫したりして、競技の奥深さを体感することができました。